

「趣味は映画づくりと野菜栽培」

小西 勲さん

生きがい農業コース 13 期生

インタビュー 令和 4 年 12 月

～なぜ農業をしようと思ったか～

西区出身で周囲には農地があり、子供のころには両親が市民農園を借りて野菜栽培をしていたのでその手伝いや、高校生の時農業公園で梨やぶどうの収穫バイトをしていたので農業は身近に感じていた。

農業と関係ない仕事に就いたが、農業に憧れを持つようになり、センターの生きがいコースを受講した。



～楽農生活センターで学んでいかがでしたか～

生きがいコースでは「農業はインテリの趣味です」と講師の人に言われ、当時はぴんと来なかったが、農業をやればやるほど、学べば学ぶほど納得する言葉だった。

受講前は経験だけで栽培しているように思っていたが、学術的、システム的であることが分かった。

初めて受講した時は意味がわからず、今まで続けたからこそわかることもあるので、もう一度生きがいコースを受講してみたい。復習会のようなことがあってもいいのではと思う。

～現在どのような農業をされていますか～

生きがいコースを修了後、市民農園で 20～30 m² ほどの畑を借りて農業をしている。

最初は栽培計画をつくり栽培していたが、今は次に植えるものが頭の中で分かるようになってきた。仕事をしており、週一回ほどしか畑に行けないので、種蒔きや追肥等の作業が行えるか気になるので季節や天候に敏感になった。

苗はメルカリで農家が販売しているものを買って栽培したところ良くできたので、主にメルカリで購入している。

一時期はフェネル（ハーブ）などの西洋野菜や芽キャベツ、落花生などにも挑戦したが、収穫量が少なく手間がかかるので、今はナスやピーマンなどの一般的な野菜を栽培している。

農業を使わずに栽培しているので店の物に比べると形はいびつだが、味は負けていな



いと思っており、カブの間引き菜等、販売していない物が食べられるのは生産者の特権だと感じている。

～映画づくりをされているんですか～

映画づくりが本業ではなく、趣味のようなものでやっている。

高校、大学時代から映画づくりをしており、ケーブルテレビに就職したが、忙しくて自分の作品を作れないため、IT系の会社に転職した。

知り合いから神戸電鉄の三木駅が焼失したので映画で応援しようという話が出て、クラウドファンディングや募金で資金を集め、「神さま、わたしの鉄道をまもって。～三木の紅龍伝説～」の監督として映画を撮り、自身初の劇場公開作品となった。

今は初心者が演技を学び映画を撮るワークショップを開催している。2023年4月に上映会を行うので、是非見に来てほしい。

あなたの本当に守りたいものは何ですか？
神戸の奇蹟もめくり
それぞれの思いが交差する青春ファンタジー

神さま、わたしの鉄道をまもって。
～三木の紅龍伝説～

小西イサオ監督作品
高井祐美 江川結樹 神宮司守 伊ふか 佐々木春樹 徳丸新作 木野比呂 櫻沙り 櫻木多

初心者向 映画に
出てみたい人募集

小学生から
シニア
まで
仲間と
出たい人
歓迎

夢中になれる楽しみ
あなたも新しい一歩をふみだそう

コミュニケーションワークショップ トライアル開催 【日程・場所】詳細は裏面に
2022/11/6 (日)～2023/4/16 (日)
対象：全日本に繋がれる農業初心者 (10才以上) 原則日曜午前。月2回。
内容：演技を学び、参加者で短編映画を作ります 神戸市東灘区を予定
参加費：1,500円/回×12回。原簿月2回。
*小学生 (10才以上) のお子さまが参加される場合は、保護者の方の同意が必要です
お申込 130kon@gmail.com

～今後の農業の関わりについて教えてください～

定年後は、映画と農業を大事に時間をかけてやっていきたい。農家になることも考えにはあるが、売れる品質のものを栽培していけるのか不安がある。

自分にとって農業とは楽しみと趣味と実益を兼ねたもの。無心になってもくもく作業をするのは楽しいし、土を触っているのは癒やしになり、種をまいて芽が出てくると嬉しく、じゃがいも収穫などは宝探しのように感じる。仕事がどんなに忙しくてもやめようと思ったことはない。

また映画作りとしては、市民農園の仲間が病気などになってしばらく休んでも農業に復帰しているのを見て、そういう農業の楽しさを伝える映画も撮れれば良いなと考えている。

農園地主さんを始め農業をやっている方は元気、自分も年をとっても続けていきたい。

